

生 萱

□平成24年7月1日発行
□発行責任者 相澤 隆
生萱区長



発刊にあたって

区長 相澤 隆

昨年3月11日に発生しました東日本大震災は、日本中を震撼させ、人命、財産と未曾有の大惨事でありました。その上、原発事故の恐ろしさは世界中の原発関係者に多大なる影響を与えました。しかし、今だに余震による恐怖は私達から安心という文字を消し去っております。日本は地震国であり、何本あるかわからない活断層は、当初30年の間に昨年に匹敵する地震が起ると発表されていましたが、その後ここ3、4年でも起りうると訂正されました。私たちはこういった情報を共有し、万全を期して災害に備えておきましょう。救急用具は勿論、食料、水など

も十分貯えておくのも大切な事でしょう。何年かして無駄だと思ってもそれが良かったと思える日は幸せな事だと思いません。我が「生萱」は、東と北側を堅い山に囲まれ風水・地震による被害は少ない土地柄と言えるところですが、懸念されるのは千曲川の氾濫と沢山、三滝川の増水でしょう。また、当地は数年に一度の頻度で火災が発生しております。火災は人災です。一人一人十分に気をつけて火災ゼロ地区にしてまいりましょう。幸い当地は埴科縣神社という尊い氏神様に守られております。皆さんで心からお祈りし、この地から災害をなくし、安心していつも笑い合える地区をいつまでも守り続けましょう。

生萱の地を訪ねて

佐藤 秀夫

こんにちは。

私は福島県から避難して千曲市でお世話になっていている佐藤です。この度、生萱地区の方とご縁ができたということを嬉しく思います。私がこの地を訪ねて感じたことを綴らせていただきます。

1月7日「おやき」作りを拝見させていただくために夫婦で公民館を訪れました。野菜を洗い、刻むことから始まって一個の「おやき」が出来上がるまでには沢山の作業と信頼に根ざした絶妙なタイミングと技があることに驚きました。召し上がる人に温かなものを届けようと最後の蒸し上げる時間を計っている姿から、毎日を大切に過ごしていると感じられました。お茶や漬物をいただく頃にはまるで故郷の知人に会っている雰囲気になり、ご迷惑を省みず話し込んでしまいました。見知らぬ私たちを温かくもてなしていただいたことが嬉しくて再び訪問しました。男の方を交えた話題は

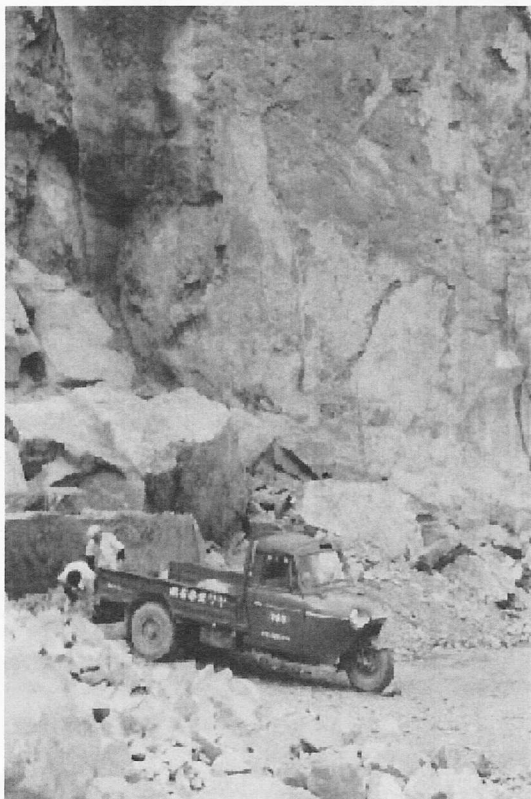
主に東日本大震災のことでしたが、生萱地区の防災意識は高く災害への備えは十分のように感じました。これも地区の先祖の教えと11の常会を通して意識の高揚を図ってきた賜物と思われず。短時間の印象ではありません。男女、それぞれの役割分担を果たしながら、お互いに尊敬し助け合い、現代に合った生活をされているようにお見受けしました。「絆」「伝統」「文化」「自然」私たちが失ってしまったものが全て生萱にありました。皆様がこころ伸びやかにくらすられているご様子を拝見させていただき、信じられる人との繋がりが生きる力となることを実感しました。皆さんが唄ってくださった「生萱小唄」の「ヨイショナーア・々・」は「これからも坂道をしっかりと登っていけよ」の応援歌に聞こえ、気を引き締めて聞き入りました。生萱の皆様にご挨拶になりました。ありがとうございました。

石土場懐古

荒井 新一

大正時代の事と思われませんが当時、大雨の度に暴れた千曲川の護岸工事に使われる「間知石（けんちいし）」を割り出す為に旧内務省によって始められたこの採石場を地元の人たちは「石土場（いしどば）」とよんできました。（表紙写真）

最盛期には国の役人以下、50人以上が従事していたそうで、私の祖父は「内務省御用達」と染め抜かれた法被を着てその人達を束ね、威勢が良かったそうです。現在では知る人も少なくなってしまうましたが山裾に敷



かれた鉄路の上をトロッコが押され、旧雨宮小学校跡地の終点から荷馬車に積み替えられ各工事現場へ搬出されていました。重機も車両もなく、全て手作業で、時には発破作業も伴う仕事はかなり危険で重労働であったと思われませんが、養蚕と並び数少ない貴重な地場産業のひとつであったと思います。

また、地元の子供達には恰好の遊び場となり、悪戯をして怒鳴られた経験をお持ちの方もおられるのではないのでしょうか。古き良き時代の風景であったと言えるのかも知れません。

サークル紹介

織姫の会

島田 美知子

「織姫の会」の紹介をいたします。現在、会員10名程で月1回、午後1時から3時までまちかど図書館で行っています。各自使い古した布を裂いた物、又は毛糸、木綿布、麻糸等を使い、縦糸を張り横糸を通し、トンカラリンと織機を使って作品作りを楽しんでいます。今まで会員が作った作品は、花瓶敷、コースター、ベスト、マフラー、バック、のれん等自分で作りたい作品作りに取り組んでいます。又、月1回皆さんとお会いし、お話できる事も楽しみに一つです。「来月は○日ね」「それまでに出来上がるかしら」などと、次回の織姫の会を楽しみにしています。私たちが楽しく出来るのも塩崎から通ってくださる安田輝子先生のお陰と感謝しております。織姫の会に関心のある方はどなたでも結構です。トンカラリンと織っていますのでちよつとのぞいてみてください。

カラオケクラブ

宮島 久子

私たち「カラオケクラブ」は現在11名で毎月第1水曜日に「まちかど図書館」で練習しています。宮澤先生の親切、丁寧な指導のもと、演歌を主体にみっちり2時間練習し、先生からカラオケのテープが渡され、各自家に持ち帰り家族の前で歌ったりしています。練習だけではつまらないので、生萱区の「いきいきサロン」や農協の芸能発表会などでも披露の場を作っています。歌はお腹から大きく息を吸って声を出します。「健康で明るく毎日を楽しく」をモットーにしています。「カラオケクラブ」に皆

おやきの会

島田 武久

平成10年、八幡原でのコンクールで厳しい審査を経て、準優勝に輝いた「おやき」に魅せられ、是非この味を広げたいと、島田美知子さんに指導をお願いしたところ、快くお引き受けいただきました。8人の

さんも是非参加してください。毎月、第1水曜日夜7時30分にお待ちしています。



会員が材料を持ち寄ったり、また、会費で購入するなどし、レシピどおり指導を受け、懸命に作り、味見して流石にと感銘し、以来公民館行事、いきいきサロンなどに提供し、大変ご好評をいただいております。今年は福島から避難されているご夫婦を招待し、一緒に

しました。

生萱フラダンスの会

島田 とみ江

5月に丁度活動4年目に入りました。毎月第1・3木曜日午後1時から区の公会堂で踊っています。現在、会員は8名、頭(?)と体の軽い運動で心も体もリラックスできます。ただいま会員を募集中です。お気軽に声をかけてください。



就任にあたって

区長 相澤 隆

平成24年度区長を仰せつかり既に3ヶ月を過ぎようとしていきます。

素より浅学非才その器ではありませんが、お引き受けしたからには優秀なる先輩諸区長各位に負けぬ様、がんばるつもりであります。一年よろしくご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

地区内の安寧と秩序を守りたい。これが私の目標です。健康で明るく活発な生萱区、絆を大切にし相互扶助と隣人愛で老人を一人にさせない生萱区。そんな区行政が「出来たら良いな」と思っております。

幅広く区民皆様のご意見とご協力をお願い申し上げます。次第です。

退任にあたり

前区長 久保 悦朗

任期中は区役員、常会長の方々、そして生萱区民の皆様方には大変お世話にあいなりましたが、小生にとりましては大きな一年でもありまして。お陰をもちまして無事終わらせることが出来ました事は、偏に関係者各位のご配意の賜物と衷心より厚く御礼申し上げます。折角のご推挙をいただきながら満足な事も出来ずじまいでしたが、やり残した分は新区長のもと、新しい役員様方によりしくお願いしたいと思えます。退任にあたり皆様方に感謝致すと共に、本年度も昨年に続いて災害のない事を祈念致します。今後は区の一員として協力をしていく所存であります。ありがとうございます。

平成24年度 区役員及び各種団体役員
今年一年よろしくお願ひします。

- 区長 相澤 隆
- 代理区長 相澤 正秀
- 宮崎組長 宮島 信雄
- 宮崎副組長 久保 岩水
- 大門組長 野澤 孝幸
- 本生萱組長 宮島 繁美
- 石原組長 越 昇
- 協議委員
 - ・宮崎1東 閨間 金男
 - ・宮崎1西 田中 良治
 - ・宮崎1南 小林 弘二
 - ・宮崎1北 長福 隆浩
 - ・宮崎2 相澤 卓
 - ・大門3 久保 義明
 - ・大門4 島田 隆男
 - ・生萱5・6 久保 廣康
 - ・生萱5・6 島田 寛
 - ・石原7 窪田 賢一
 - ・石原8 藤倉 重正
- 各種団体
 - 縣神社氏子総代主任 田中 次郎
 - 人權教育推進委員長 野澤 國義
 - 公民館生萱分館長 島田 古重郎
 - 雨宮育成会副会長 島田 徳一
 - 防犯雨宮支会会長 閨間 金男
 - 社協雨宮副支部長 閨間 忠夫
 - 安協雨宮副分会長 中島 信行
 - 屋代沖ほ場支部長 中島 信吉
 - 生萱を知る会会長 久保 知大
 - 神楽保存会会長 島田 袈裟二
 - 民生児童委員 相澤 美恵
 - 民生児童委員 高野 敬道
 - 主任児童委員 島田 幸子
 - 東小PTA支部長 中島 勇登
 - 屋代中学PTA 松澤 洋一
 - 消防団第二分団班長 相澤 信秀
 - 自衛消防団長 久保 今朝幸
 - 日赤奉仕団团长 久保 裕美子
 - 農業委員 島田 保彦
 - 屋代公民館副館長 西村 弘一

編集後記

「生萱」第6号をお届けできる運びとなりました。編集にあたりそれぞれの皆様から原稿、資料、写真等をお寄せいただき心から御礼申し上げます。

ます。

田が青くなりますと今年の豊作を祈願して縣神社の「斎田祭」が行われます。平穩無事な24年度であって欲しいと念願する次第です。